

〔第186回明専塾（JFEスチール株）〕

暮らしと産業を支える鉄鋼

工学府工学専攻電気エネルギー工学コースM1 滝川 暉



はじめに

令和2年1月10日に戸畑キャンパス中村記念館において第186回明専塾が開催され、私は就職活動における企業研究として参加させていただきました。

私は学部、修士ともに電気電子工学を専攻しており、自動車、鉄鋼、電機、部品など様々な業界がある中で、鉄鋼業界のダイナミックなフィールドとその製造過程に魅力を感じ、将来は鉄鋼に関わった職に就きたいと考えております。今回の明専塾は最も興味のある企業であったので、参加できて非常に良かったと感じました。

講演会

今回の明専塾はJFEスチール

株式会社より、川浪秀治先輩（設機H12卒）、岡山智将先輩（機機H26卒）、衛藤彩香先輩（電シH28卒）、高尾幹人先輩（機科H19卒）の4名のOB・OGの方にご講演いただきました。講演を聞き、JFEスチール株式会社には鉄の製造過程ごとにそれぞれの工場がいくつもあり、私達の生活に必要な鉄をより高品質、高効率で製造するために製造



講演会の様子

技術、設備技術、研究開発の3つの部門で、材料、機械、電気電子など様々な分野の技術者が活躍していることがわかりました。大規模な工場設備をより効率的に運営していくためのアイデアや、問題解決力が必要になると感じました。また、工事を指揮する側であるので物事をわかりやすく相手に伝えることや、コミュニケーション能力も必要不可欠なものだと感じました。鉄を作る大規模な工場設備に携わり、自分のアイデアを反映していく仕事であるため、やりがいや達成感是非常に魅力的だと思います。

鉄鋼業界に限らず、自分はどうな職に就き、何をやりがいとするかを考えることは、今、就職活動をしている学生、今後就職活動をする学生にとっても非常に大切なことだと感じました。

グループディスカッション

講演会後に行われたグループディスカッションは、ご講演いただいた先輩方をはじめ、同社の先輩方、今年度内定者の方と多くの学生とで行われました。講演を聞いて気になったことや、知りたいことなどを企業の方とお話できる貴重な機会であり、私自身にとってはもちろん、参加し



グループディスカッションの様子

た学生にとっても非常に有意義なものであったと思います。

働く環境や福利厚生に関すること、学生時代のお話、また社会人の生活に関するお話など様々なこと聞くことができ参加して良かったと改めて感じました。

おわりに

最後になりましたが、この場をお借りして、今回ご協力いただきましたJFEスチール株式会社の皆様、キャリアセンター、明専会の皆様にご心より御礼申し上げます。

（令和元年2月記）